



Informatica®
10.4.0

用語集

Informatica 用語集

10.4.0

2019 年 12 月

© 著作権 Informatica LLC 2016, 2020

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

Informatica および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

製品には、ワシントン大学、カリフォルニア大学アーバイン校、およびバンダービルト大学の Douglas C.Schmidt および同氏のリサーチグループが著作権を持つ ACE (TM) および TAO (TM) ソフトウェアが含まれています。Copyright (C) 1993-2006, All rights reserved.

本製品には、Curl ソフトウェア Copyright 1996-2013, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>が含まれます。All rights reserved.本ソフトウェアに関する許諾および制限は、<http://curl.haxx.se/docs/copyright.html> にある使用条件に従います。すべてのコピーに上記の著作権情報とこの許諾情報が記載されている場合、目的に応じて、本ソフトウェアの使用、コピー、変更、ならびに配布が有償または無償で許可されます。本製品には、MetaStuff, Ltd.のソフトウェアが含まれます。Copyright 2001-2005 (C) MetaStuff, Ltd. All Rights Reserved.本ソフトウェアに関する許諾および制限は、<http://www.dom4j.org/license.html> にある使用条件に従います。

製品には、The Dojo Foundation のソフトウェアが含まれます。Copyright (C) 2004-2007.All rights reserved.本ソフトウェアに関する許諾および制限は、<http://dojotoolkit.org/license> にある使用条件に従います。

本製品には、ICU ソフトウェアおよび他のソフトウェアが含まれます。Copyright International Business Machines Corporation.All rights reserved.本ソフトウェアに関する許諾および制限は、<http://source.icu-project.org/repos/icu/icu/trunk/license.html> にある使用条件に従います。

本製品には、OSSP UUID ソフトウェアが含まれます。Copyright (C) 2002 Ralf S. Engelschall, Copyright (C) 2002 The OSSP Project Copyright (C) 2002 Cable & Wireless Deutschland.本ソフトウェアに関する許諾および制限は、<http://www.opensource.org/licenses/mit-license.php> にある使用条件に従います。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、infa_documentation@informatica.com までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

発行日: 2020-06-26

目次

序文	4
Informatica のリソース.....	4
Informatica Network.....	4
Informatica ナレッジベース.....	4
Informatica マニュアル.....	4
Informatica 製品可用性マトリックス.....	5
Informatica Velocity.....	5
Informatica Marketplace.....	5
Informatica グローバルカスタマサポート.....	5
付録 A : 用語集	6

序文

Informatica Administrator、Informatica Analyst、および Informatica Developer とともに使用できる Informatica 製品の用語の詳細を見るには、*Informatica(R)用語集*を参照してください。

Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

Informatica Network

Informatica Network は、Informatica ナレッジベースや Informatica グローバルカスタマサポートなど、多くのリソースへの入口です。Informatica Network を利用するには、<https://network.informatica.com> にアクセスしてください。

Informatica Network メンバーは、次のオプションを利用できます。

- ナレッジベースで製品リソースを検索できます。
- 製品の提供情報を表示できます。
- サポートケースを作成して確認できます。
- 最寄りの Informatica ユーザーグループネットワークを検索して、他のユーザーと共同作業を行えます。

Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム (KB_Feedback@informatica.com) です。

Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム (infa_documentation@informatica.com) までご連絡ください。

Informatica 製品可用性マトリックス

製品可用性マトリックス（PAM）には、製品リリースでサポートされるオペレーティングシステム、データベースなどのデータソースおよびターゲットが示されています。Informatica PAM は、<https://network.informatica.com/community/informatica-network/product-availability-matrices> で参照できます。

Informatica Velocity

Informatica Velocity は、Informatica プロフェッショナルサービスが開発したヒントとベストプラクティスのコレクションで、多数のデータ管理プロジェクトから得た実体験に基づいています。Informatica Velocity には、世界中の組織と連携してデータ管理ソリューションを計画、開発、デプロイ、管理する Informatica コンサルタントによる集合知を表しています。

Informatica Velocity リソースには、<http://velocity.informatica.com> からアクセスしてください。Informatica Velocity についての質問、コメント、またはアイデアがある場合は、ips@informatica.com から Informatica プロフェッショナルサービスにお問い合わせください。

Informatica Marketplace

Informatica Marketplace は、お使いの Informatica 製品を拡張したり強化したりするソリューションを検索できるフォーラムです。Marketplace で、Informatica デベロッパーやパートナーからの多数のソリューションを活用すれば、生産性を向上したり、プロジェクトでの実装時間を短縮したりできます。Informatica Marketplace は、<https://marketplace.informatica.com> からアクセスしてください。

Informatica グローバルカスタマサポート

電話または Informatica Network からグローバルサポートセンターに連絡できます。

各地域の Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica Web サイト（<https://www.informatica.com/services-and-training/customer-success-services/contact-us.html>）を参照してください。

Informatica Network でオンラインサポートリソースを見つけるには、<https://network.informatica.com> にアクセスし、eSupport オプションを選択します。

付録 A

用語集

Apache Hadoop を含む Cloudera ディストリビューション (CDH)

オープンソースの Hadoop ソフトウェアフレームワークの Cloudera バージョンです。

Blaze **実行プログラム**

マッピングを簡素化して Blaze 実行プランに変換し、Hadoop クラスタで実行できるようにする DTM のコンポーネント。

complex data type:**複合データ型**

単一のカラム位置で複数のデータ値を表すことができるデータ型。データ値は要素と呼ばれます。

complex data type definition:**複合データ型定義**

構造体型の要素を含む複合ポートまたは構造体ポートで参照する、データのスキーマの再利用可能な表現。1 つ以上の複合ポートで複合データ型定義を使用できます。

complex function:**複合関数**

入力値または戻り値が複合データ型である、定義済み関数のタイプ。

complex operator:**複合演算子**

複合データ型の要素名を参照するか、その要素にアクセスする演算子のタイプ。

complex port:**複合ポート**

階層データを渡すために、配列、構造体、マップなどの複合データ型が割り当てられているポートタイプ。

CompressionCodec

Hadoop 圧縮インターフェイス。コーデックとは、圧縮-圧縮解除アルゴリズムを実装したものです。Hadoop の場合、コーデックは、CompressionCodec インターフェイスの実装によって表されます。

DataNode

Hadoop ファイルシステムにデータを保存する HDFS ノード。HDFS クラスタは、複数の DataNode から構成でき、DataNode 全体でデータが複製されます。

data object read operation:**データオブジェクトの読み取り操作**

ソースに対して特定のランタイム操作を実行するために必要なプロパティを含むリポジトリオブジェクト。データオブジェクトの読み取り操作は、ソースデータオブジェクトに関連付けられます。

data object write operation:データオブジェクトの書き込み操作

ターゲットに対して特定のランタイム操作を実行するために必要なプロパティを含むリポジトリオブジェクト。データオブジェクトの書き込み操作は、ターゲットデータオブジェクトに関連付けられます。

DTM インスタンス

ジョブを実行するためにデータ統合サービスが作成する実行 Data Transformation マネージャ (DTM) を具体的なかつ論理的に表現したもの。DTM インスタンスは、データ統合サービスの設定方法に基づいて、データ統合サービスプロセス、ローカルノードの個別の DTM プロセス、またはリモートノードの個別の DTM プロセスで実行されます。

DTM プロセス

DTM インスタンスを実行するためにデータ統合サービスが開始するオペレーティングシステムプロセス。データ統合サービスは、その設定に基づき、ローカルノードまたはリモートノードの個別の DTM プロセスで各 DTM インスタンスを実行できます。

Hadoop environment:Hadoop 環境

Hadoop クラスタでマッピングまたはプロファイルを実行するように設定できる環境。Hadoop は、検証およびランタイム環境として設定する必要があります。

Hadoop クラスタ

Hadoop のアプリケーションとサービスを実行するように設定されたマシンのクラスタ。一般的な Hadoop クラスタには、1 つのマスタノードと複数の作業ノードが含まれます。マスタノードは、マスタデーモンの JobTracker と NameNode を実行します。スレーブまたは作業ノードは、DataNode デーモンと TaskTracker デーモンを実行します。小規模なクラスタでは、マスタノードがスレーブデーモンも実行する場合があります。

Hadoop 分散ファイルシステム (HDFS)

Hadoop アプリケーションが使用する分散ファイルストレージシステム。

hierarchical data:階層データ

階層的に関連するデータのセット。階層リレーションはスキーマとして表されます。Informatica トランスフォーマーでは、複合データ型を使用して階層データを表します。

Hive

Hadoop 上に構築されるデータウェアハウスインフラストラクチャ。Hive では、データの要約、クエリ、および分析に対応した、HiveQL と呼ばれる SQL に似た言語がサポートされます。

Hive スクリプト

Hive クエリ言語で作成されたスクリプト。このスクリプトには、Hive クエリと、マッピングを実行する Hive コマンドが含まれています。

Hive タスク

Hive 実行プラン内のタスク。Hive 実行プランには、多数の Hive タスクが含まれています。Hive タスクには、Hive スクリプトが含まれています。

Hive 実行プラン

Hive 実行プログラムがマッピングまたはプロファイルの処理後に生成する一連の Hive タスク。Hive 実行プランは、Hive ワークフローと呼ばれる場合もあります。

Hive **実行プログラム**

マッピングまたはプロファイルを簡素化して Hive 実行プランに変換し、Hadoop クラスタで実行できるようにする DTM のコンポーネント。

Informatica Administrator

Informatica Administrator (Administrator ツール) は、サービス、ノード、ライセンス、グリッドなどのドメインオブジェクトの管理タスクを統合するアプリケーションです。Administrator ツールを使用して、ドメインおよびドメインのセキュリティを管理します。

Informatica Developer

Informatica Developer (Developer tool) は、データ統合ソリューションの設計に使用するアプリケーションです。モデルリポジトリは、Developer tool で作成するオブジェクトを格納します。

Informatica Mass Ingestion

Informatica Mass Ingestion (Mass Ingestion tool) は、一括取り込み仕様の設定、デプロイ、実行、監視に使用できるアプリケーションです。

Informatica Monitoring **ツール**

Informatica Monitoring ツール (Monitoring ツール) は、Administrator ツールの [モニタ] タブに直接アクセスできるようにするためのアプリケーションです。[モニタ] タブには、データ統合サービスで実行された統合オブジェクトに関するプロパティ、ランタイム統計、およびランタイムレポートが表示されます。

JobTracker

マップタスクとリデュースタスクを調整し、それらを TaskTracker で実行するようにスケジュールする Hadoop サービス。

MapReduce

大量のデータを並行処理するためのプログラミングモデル。

MapReduce **ジョブ**

入力データ、MapReduce プログラム、および設定情報から構成される作業単位。Hadoop は、MapReduce ジョブをマップタスクとリデュースタスクに分割して実行します。

NameNode

ファイルシステムの名前空間を管理し、ファイルシステムツリーと、ツリー内のすべてのファイル/ディレクトリのメタデータを保守する Hadoop クラスタのノード。

nested complex port:**ネストされた複合ポート**

ネストされた複合データ型定義を含む複合ポート。

nested data type:**ネストされたデータ型**

複合データ型の要素を少なくとも 1 つ含む複合データ型。たとえば、アレイ型の要素を含む構造体データ型など。

nested data type definition:**ネストされたデータ型定義**

他の複合データ型定義を参照する複合データ型定義。

primitive data type:**プリミティブデータ型**

単一のカラムの位置で 1 つのデータ値を表すことができるデータ型。

recursive data type definition:**再帰的データ型定義**

すべてのレベルの複合データ型定義の 1 つが親と同じ、ネストされたデータ型定義。

schema:**スキーマ**

データの構造の定義。構造体データ型の複合ポートでは、複合データ型定義を使用してスキーマを表します。

SQL サービスモジュール

サードパーティのクライアントツールから SQL データサービスに送信された SQL クエリを管理するデータ統合サービス内のコンポーネントサービスです。

SQL データサービス

クエリを実行できる仮想データベース。仮想オブジェクトを含み、共通点のない異なるデータソースからのデータの均一ビューを提供します。

TaskTracker

マップタスクやリデュースタスクなどのタスクを実行する Hadoop クラスタのノード。TaskTracker は、JobTracker に進行状況レポートを送信します。

type configuration:**型設定**

複合データ型要素のデータ型、またはデータのスキーマを指定する、複合ポートプロパティのセット。

type definition library:**型定義ライブラリ**

マッピングまたはマップレットの複合データ型定義を格納するモデルリポジトリ内のオブジェクト。

Web サービストランスフォーメーション

Web サービス要求や Web サービス応答を処理するトランスフォーメーション。Web サービストランスフォーメーションの例として、入力トランスフォーメーション、出力トランスフォーメーション、フォールトトランスフォーメーション、および Web サービスコンシューマトランスフォーメーションがあります。

Web サービスモジュール

Web サービスクライアントから Web サービスに送信された Web サービス操作要求を管理するデータ統合サービスのコンポーネント。

XMap

XML 入力ドキュメントを他の XML 入力ドキュメントにマップするデータプロセッサトランスフォーメーションオブジェクト。

XML schema:XML **スキーマ**

XML ドキュメントで使用される要素、属性、および構造を定義したもの。スキーマは、World Wide Web Consortium の XML スキーマ標準に準拠しており、*.xsd ファイルとして保存されます。

XPath

XML ドキュメント内のノードを選択し、計算を実行するために使用されるクエリ言語。

XSD スキーマファイル

XML ドキュメントの要素、属性、および構造を定義した XML スキーマを含む*.xsd ファイル。

アプリケーション

データ統合サービスにデプロイできるオブジェクト。データオブジェクト、マッピング、SQL データサービス、Web サービス、ワークフローを含めることができます。

アプリケーションサービス

Informatica ドメインにある 1 つ以上のノードで実行するサービス。Informatica Administrator 内または infacmd コマンドプログラムを使用して、アプリケーションサービスを作成および管理します。アプリケーションサービスには、ドメイン内の複数のインスタンスを所有できるサービスと、ドメイン内の単一のインスタンスを所有できるシステムサービスが含まれます。各アプリケーションサービスは、環境の要件に基づいて設定します。

アプリケーションパッチ

データ統合サービスにデプロイできるオブジェクト。デプロイ済みの差分アプリケーションの更新に使用できるメタデータが含まれます。

イベント

ワークフローを開始または終了するワークフローオブジェクト。イベントは、ワークフローの実行時に発生する事象を表します。エディタでは円で示されます。

インテリジェント構造

入力ファイル内でインテリジェント構造検出が特定したパターンのモデルとデータのフィールドのタイプ。ファイル内のデータの編成に応じて、モデルには単純な要素と複雑な要素の両方が含まれます。

インテリジェント構造検出

機械学習アルゴリズムを使用して自動的に入力ファイルの情報のタイプを特定する、Informatica Intelligent Cloud Services 内のサービス。インテリジェント構造検出は、インテリジェント構造、つまりファイル内で検出されたパターンのモデル、データのフィールドのタイプを作成します。ファイル内のデータの編成に応じて、モデルには単純な要素と複雑な要素の両方が含まれます。

エンタープライズ検出

複数の接続またはスキーマにまたがる大量のデータソース内のカラムプロファイル統計、データドメイン、プライマリキー、および外部キーを検出するプロセス。

エンタープライズ検出プロファイル

エンタープライズ検出を実行するために使用するプロファイルタイプ。

オペレーティングシステムプロファイル

UNIX または Linux 上でデータ統合サービスがランタイムユーザー環境を分離するために使用するセキュリティのタイプ。オペレーティングシステムのプロファイルには、オペレーティングシステムのユーザー名、サービスプロセス変数、環境変数、および権限が含まれます。データ統合サービスは、オペレーティングシステムユーザーのシステム権限、およびオペレーティングシステムプロファイルで定義されたプロパティを使用して、マッピング、ワークフロー、プロファイリングジョブ、スコアカードを実行します。

カスタマイズデータオブジェクト

ソースとして1つ以上の関連するリレーショナルリソースまたはリレーショナルデータオブジェクトを使用する物理データオブジェクト。カスタマイズデータオブジェクトを使用して、関連するリソースからのデータを結合したり、行をフィルタしたりするなどのタスクを実行できます。カスタマイズデータオブジェクトは、ソーステーブルに単一の接続と SQL 文を使用します。

カラムプロファイル

データソース内のカラムの特性を決定するプロファイルのタイプ。例えば、値の頻度、パーセンテージ、パターン、データ型など。

カラム名ルール

カラムをその名前によって特定のデータドメインに属しているものとして識別する、再利用可能なビジネスロジック。

キュレーション

データソースで検出されたメタデータを検証し管理することで、使用とレポートに適したメタデータにするプロセスです。

グリッドセグメント

グリッドタスクに含まれるグリッドマッピングの一部。

グリッドタスク

並行処理ジョブ要求。Hadoop 環境でマッピングを実行した場合は、Blaze エンジン実行プログラムがグリッドマネージャに要求を送信します。ネイティブ環境でマッピングを実行し、リモートモードでデータ統合サービスを実行した場合は、データ統合サービスプロセスがマスタ計算ノードのサービスマネージャに要求を送信します。

グリッドマッピング

Blaze エンジンがコンパイルしてノードのクラスタ全体に配布する Informatica のマッピング。

ゲートウェイ

データ統合サービスによる条件付きシーケンスフローの式の評価結果に基づいてワークフローのパスを分割およびマージするワークフローオブジェクト。エディタではひし形で示されます。

コストベース最適化

結合動作を実行するマッピングの実行時間を減らす最適化方式。コストベース最適化では、データ統合サービスがマッピングを実行するための個別のプランを作成し、各プランのコストを計算します。データ統合サービスは、最小コストのプランを実行します。データ統合サービスは、データベース統計、I/O、CPU、ネットワーク、およびメモリに基づいてコストを計算します。

コマンドタスク

Blaze エンジンワークフローのローカルデータに対する前処理タスクまたは後処理タスク。

コンテナ

計算ロールが指定されたノードにメモリおよび CPU リソースを割り当てるもの。アプリケーションサービスは、コンテナを使用して、ノード上でリモートで計算を実行します。例えば、グリッド上で実行されるデータ統合サービスは、計算ロールが指定されたノード上のコンテナ内のマッピングをリモート実行できます。

サンプルソースドキュメント

データプロセッサトランスフォーメーションが処理するドキュメントのサンプル。

システムサービス

ドメイン内の単一のインスタンスを所有できるアプリケーションサービス。システムサービスは、ドメインを作成すると自動的に作成されます。ユーザーによる有効化、無効化、および設定が可能です。

システムワークフロー変数

ワークフローインスタンス ID、ワークフローを開始したユーザー、ワークフローの開始時刻など、システムのランタイム情報を返すワークフロー変数。

シーケンスフロー

ワークフローオブジェクトの実行順序を示すオブジェクト間のコネクタ。エディタでは矢印で示されます。

スコアカード

ソースカラムの有効値またはプロファイル結果内のルールの実出力を視覚的に表したものの。データ品質の進捗を測定するには、スコアカードを使用します。

スコアカードリネージュ

スコアカードで、元のデータの表示やパスの記述、メトリックやメトリックグループへのデータの流れの表示をする図。スコアカードリネージュ解析では、ボックスやノードでオブジェクトを表します。データフローの関係は矢印で表されます。

スタートアップコンポーネント

データプロセッサトランスフォーメーションを実行するときに Data Transformation が最初に開始する実行可能コンポーネント。

ステートフル変数ポート

以前の行の値を参照する変数ポート。

スパークライン

スパークラインは、最新の 5 回連続のプロファイル実行について、NULL 値、一意の値、または非一意の値における変動を示す折れ線グラフです。

ソースドキュメント

データプロセッサトランスフォーメーションの入力となるドキュメント。

タスク

マッピングの実行、電子メールの送信、シェルコマンドの実行など、ワークフローの 1 つの作業単位を実行するワークフローオブジェクト。タスクは、ワークフローの実行時に実行される処理を表します。エディタでは四角形で示されます。

タスクレット

個別の DTM で実行されるグリッドセグメントのパーティション。

タスク入力

ワークフローのパラメータや変数からタスクに渡されるデータ。タスクで作業単位を実行するときにこの入力データが使用されます。

タスク出力

タスクからワークフロー変数に渡されるデータ。タスクを設定するときに、ワークフロー変数に割り当てるタスクの出力値を指定します。これにより、タスクの完了時に、タスクの出力値がワークフロー変数にコピーされます。データ統合サービスで条件付きシーケンスフローの式を評価したり、ワークフローの他のオブジェクトを実行したりする際に、ワークフロー変数からそれらの値にアクセスすることができます。

チームベース開発

1つの開発プロジェクトを複数のチームメンバーで協力して実施するためのコラボレーション機能。コラボレーション機能には、リポジトリオブジェクトのチェックアウトとチェックインによるバージョンニングなどの機能が含まれます。

デフォルトのシーケンスフロー

常に true と評価される排他ゲートウェイからの出力シーケンスフロー。他の条件付きシーケンスフローがすべて false と評価されると、デフォルトの出力シーケンスフローに接続されたオブジェクトが実行されます。

デプロイ

アプリケーション内のオブジェクトをエンドユーザーがアクセスできるようにします。アプリケーションのオブジェクトのタイプに応じて、エンドユーザーはオブジェクトに対してクエリを実行したり、Web サービスにアクセスしたり、マッピングやワークフローを実行したりすることができます。

データの仮想ビュー

物理データベースと同様にクエリを実行できる、SQL データサービスにより定義された仮想データベース。

データオブジェクトプロファイル

データソースに対して行う分析の種類を定義するリポジトリオブジェクト。

データサービス

データにアクセスしてそのデータを変換するために実行できる再利用可能な操作のコレクション。データサービスは、Web サービスを通じてアクセスできる、または SQL クエリを実行する対象となるデータの統合されたモデルを提供します。

データドメイン

カラムデータまたはカラム名に基づいてカラムの機能的な意味を表す、定義済みまたはユーザー定義のモデルリポジトリオブジェクトです。例えば、社会保障番号、クレジットカード番号、電子メール ID などです。

データドメイングループ

特定のデータドメインカテゴリの下のデータドメインの集まり。

データドメイングロッサリ

Analyst ツールまたは Developer tool 内の、すべてのデータドメインおよびデータドメイングループのコンテンツ。

データドメイン検出

カラム値またはカラム名に基づいて、カラムに関連付けられているすべてのデータドメインを特定するプロセス。

データプロセッサイベント

データプロセッサトランスフォーメーションの実行時に発生します。

データルール

カラムをその値によって特定のデータドメインに属しているものと識別する、再利用可能なビジネスロジック。

データ統合サービス

Informatica Analyst、Informatica Developer、および外部クライアントに対してデータ統合ジョブを実行するアプリケーションサービスです。データ統合ジョブには、データのプレビューのほか、マッピング、プロファイル、SQL データサービス、Web サービス、ワークフローの実行が含まれます。

トランスフォーメーション

データの生成や変更を行ったり、データを渡したりする、マッピング内のリポジトリオブジェクト。各トランスフォーメーションは別の関数を実行します。

ドキュメントプロセッサ

ドキュメント全体に対して動作し、通常、解析前の予備変換などを行うコンポーネント。

ネイティブ環境

マッピング、ワークフロー、またはプロファイルを実行する Informatica ドメイン内のデフォルト環境。データ統合サービスは、データ抽出、変換、およびロードを実行します。または、データ統合サービスは、非ネイティブ環境（Hadoop や Databricks などの Informatica ドメイン外部の分散クラスタ）に処理をプッシュできます。

ノード

Web サービスメッセージの階層におけるレベルの表現。

ノードロール

ノードの目的。サービスロールが指定されたノードは、アプリケーションサービスを実行できます。計算ロールが指定されたノードは、リモートアプリケーションサービスが要求する計算を実行できます。両方のロールが指定されたノードは、アプリケーションサービスを実行できるほか、それらのサービスの計算をローカルに実行できます。

パイプライン

ソース、およびそのソースからデータを受け取るすべてのトランスフォーメーションとターゲット。各マッピングには、1 つ以上のパイプラインが含まれています。

パーティションポイント

マッピングパイプラインのステージ間の境界。パーティション化を有効にすると、データ統合サービスは、パーティションポイントのデータ行を再分配できます。

パーティション化

基礎となるデータをサブセットに分割し、複数の処理スレッドで実行できるようにするプロセス。管理者がデータ統合サービスによる並行処理を最大化すると、処理スレッドの数が増加し、マッピングとプロファイリングのパフォーマンスが最適化されます。

ビッグデータ

非常に大規模で複雑なため、標準的なデータベース管理ツールでは処理できないデータセット。

フォルダ

モデルリポジトリ内のオブジェクトのコンテナ。フォルダは、オブジェクトをプロジェクトにまとめるために使用します。フォルダを作成して、ビジネスニーズに基づいてオブジェクトをグループ化できます。

フルアプリケーション

アプリケーションオブジェクトの編集後にデータ統合サービスに再デプロイする必要があるアプリケーション。

プッシュダウンの最適化

トランスフォーメーションロジックをソースまたはターゲットのデータベースにプッシュする最適化方式。プッシュダウンの最適化では、データ統合サービスがトランスフォーメーションロジックを SQL クエリに変換し、その SQL クエリをデータベースに送信します。データベースは SQL クエリを実行してデータを処理します。

プライマリキー検出

データソース内の行を一意に識別するカラムまたはカラムの組み合わせを特定するプロセス。

プリプロセッサ

メインのトランスフォーメーションの前に、ソースドキュメントを全体的に変更するために使用されるドキュメントプロセッサ。

プロジェクト

Informatica Analyst および Informatica Developer で作成されたオブジェクトを格納するための最上位コンテナ。ビジネス上のゴールや要件に基づいてプロジェクトを作成します。Informatica Analyst と Informatica Developer の両方に表示されるプロジェクト。

プロファイリングウェアハウス

プロファイリング結果やスコアカードの結果など、プロファイリング情報を格納するリレーショナルデータベース。

プロファイル

ソースデータ内のパターンを検出するルールが含まれるオブジェクト。データ構造を評価し、必要なタイプの情報がデータカラムに含まれていることを確認するには、プロファイルを実行します。

マッピング

データトランスフォーメーションのルールを定義するトランスフォーメーションオブジェクトによりリンクされている入力と出力。

マッピングレット

複数のマッピングで使用したり、ルールとして検証可能なトランスフォーメーション式を含む再利用可能なオブジェクト。

メタストア

HDFS に保存されている Hive テーブルのメタデータを保存するために Hive が使用するデータベース。メタストアは、ローカルデータベース、埋め込みデータベース、リモートデータベースとして使用できます。

メトリック

スコアカードに含まれるルールの出力またはデータソースのカラム。

メトリックウェイト

メトリックに割り当てられる 0 以上の整数。メトリックウェイトは、メトリックグループスコアに対するメトリックの影響度を定義します。

メトリックグループ

メトリックのユーザー定義グループ。

メトリックグループスコア

メトリックグループ内のすべてのメトリックスコアから計算された加重平均。

メトリックスコア

メトリックにおける有効な値の割合。

モデルリポジトリサービス

モデルリポジトリを実行および管理する Informatica ドメインのアプリケーションサービス。モデルリポジトリにより、Informatica 製品で作成されたメタデータがリレーショナルデータベースに格納され、製品間の協力関係が強化されます。

ユーザーロール

ユーザーまたはグループに割り当てる特権の集合。ロールは、ドメインのユーザーとグループ、およびドメイン内のいくつかのアプリケーションサービスのユーザーとグループに割り当てます。

ユーザー定義ワークフロー変数

タスク出力を取得したり、指定した条件を取得したりするためのワークフロー変数。ユーザー定義ワークフロー変数を作成した後に、変数にランタイム値を割り当てるようにワークフローを設定します。

ランタイムアプリケーション

データ統合サービスにデプロイされ、アプリケーションオブジェクトのランタイムインスタンスを含むアプリケーション。

ランタイムリンク

ポリシーまたはパラメータ（あるいはその両方）を使用して、実行時にグループ間でリンクするポートを決定するグループ間リンク。

ランタイム環境

マッピングまたはプロファイルを実行するように設定した環境。ランタイム環境は、ネイティブまたは Hive として使用できます。

リソースマネージャサービス

ドメイン内のコンピューティングリソースを管理してジョブをディスパッチすることにより、最適なパフォーマンスとスケーラビリティを実現するシステムサービス。リソースマネージャサービスは、計算ルールが指定されたノードに関する情報を収集します。このサービスは、ジョブ要件をリソースの可用性と突き合わせ、そのジョブの実行に最適な計算ノードを特定します。リソースマネージャサービスは、データ統合サービスグリッドの計算ノードと通信します。個別のリモートプロセスでジョブを実行するようにデータ統合サービスグリッドを設定する場合は、リソースマネージャサービスを有効にします。

ルール

プロファイルの実行時にソースデータに適用される条件を定義する再利用可能なビジネスロジック。ルールを使用して、プロファイル内のデータを詳細に検証したり、データ品質の進捗を測定します。ルールは、Informatica Analyst または Informatica Developer で作成できます。

ワークフロー

ビジネスプロセスを定義する一連のイベント、タスク、およびディシジョンを視覚的に表したものです。Developer tool を使用して、ワークフローにオブジェクトを追加したり、オブジェクトをシーケンスフローに接続したりできます。データ統合サービスでは、ワークフローで設定された指示に従ってオブジェクトを実行します。

ワークフローインスタンス

ワークフローのランタイムの表現。デプロイ済みのアプリケーションからワークフローを実行すると、ワークフローのインスタンスが実行されます。同じワークフローの複数のインスタンスを同時に実行できます。

ワークフローインスタンス ID

実行済みのワークフローインスタンスを一意に識別するための番号。

ワークフローサービスモジュール

ワークフローを実行する要求を管理するデータ統合サービスのコンポーネント。

ワークフローパラメータ

ワークフローの実行前に定義する定数値。パラメータの値は、ワークフロー全体で同じ値が保持されます。パラメータの値はパラメータファイルで定義します。ワークフローパラメータはすべてユーザーが定義します。

ワークフロー変数

ワークフローの実行時に変更できる値。値やレコードのランタイム情報を参照するために使用します。ワークフロー変数には、システム変数とユーザー定義変数があります。

一括取り込み

リレーショナルデータベースとデータレイクまたは Hadoop クラスタ間における大量のデータの移動。

一括取り込みサービス

Mass Ingestion tool で作成する一括取り込み仕様を管理するアプリケーションサービス。一括取り込みサービスは仕様を検証し、データ取り込みサービスで実行する仕様のスケジュールを設定し、取り込みに関する統計情報を監視します。

一括取り込み仕様

リレーショナルデータベースからのソースデータをデータレイクまたは Hadoop クラスタ内の特定の場所に取り込む方法を決める設定。

仮想スキーマ

データベース構造を定義する仮想データベースのスキーマ。

仮想ストアードプロシージャ

SQL データサービスにおける一連の手順またはデータフローの命令。

仮想テーブル

仮想データベース内のテーブル。

仮想テーブルマッピング

仮想テーブルをターゲットとして含むマッピング。

仮想データ

仮想テーブルのクエリを実行したり、SQL データサービスでストアードプロシージャを実行したりしたときに取得する情報。

仮想データベース

クエリを実行できる SQL データサービス。仮想オブジェクトを含み、共通点のない異なるデータソースからのデータの均一ビューを提供します。

依存カラム

機能依存性において、決定側カラムによって決定される値が含まれる列。

候補キー

データベーステーブルで各ソース行を一意に識別する 1 つのカラムまたは一連のカラム。

入カルール

どの生成されたポートを動的ポート内で作成するかを決定するルール。

出力ドキュメント

データプロセッサトランスフォーメーションの結果として生成されるドキュメント。

初期プロジェクション最適化

マッピング内でトランスフォーメーション間を移動するデータの量を減らす最適化方式。初期プロジェクション最適化では、データ統合サービスが使用されていないポートを特定し、マッピングにおけるそのようなポート間のリンクを削除します。

初期選択の最適化

マッピングをパススルーする行の数を減らす最適化方式。初期選択の最適化では、データ統合サービスがパイプラインにおいてマッピングに近いフィルタを移動します。

動的な受信者

ワークフローのパラメータまたは変数で定義される通知の受信者。

動的な電子メールのコンテンツ

ワークフローのパラメータまたは変数で定義される電子メールのコンテンツ。

動的な電子メールアドレス

ワークフローのパラメータまたは変数で定義される電子メールアドレス。

動的ソース

実行時に変更できるマッピング用のフラットファイルまたはリレーショナルソース。読み取りおよびルックアップトランスフォーメーションでは、ソースから直接、定義またはメタデータの変更を取得できます。ソースのパラメータを使用すると、実行時にソースを変更できます。

動的ターゲット

実行時に変更できるマッピング用のフラットファイルまたはリレーショナルターゲット。書き込みトランスフォーメーションでは、実行時にマッピングフローに基づいて、または関連付けられたターゲットからターゲットトカラムを定義できます。書き込みトランスフォーメーションでは、実行時にターゲットテーブルを削除して置換することもできます。

動的ポート

アップストリームトランスフォーメーションから 1 つ以上のカラムを受け取り、生成されたポートをカラムごとに作成できるポート。

動的マッピング

定義したパラメータとルールに基づいて、ソース、ターゲット、トランスフォーメーションロジックを実行時に変更できるマッピング。ソースおよびターゲットのメタデータを変更できるように動的マッピングを設定することが可能です。トランスフォーメーションが受信するポート、トランスフォーメーションロジックで使用するポート、トランスフォーメーショングループ間で確立するリンクを設定できます。

受信者

ワークフローの実行中に通知を受信する Informatica ドメインのユーザーまたはグループ。

外部キー検出

1 つのデータソース内で、親データソース内のプライマリキーカラムに一致するカラムを検出するプロセス。

実行 Data Transformation マネージャ (DTM)

データトランスフォーメーションジョブを完了するためにデータを抽出、変換、ロードするデータ統合サービスの計算コンポーネント。

差分アプリケーション

アプリケーションパッチをデータ統合サービスにデプロイして更新できるアプリケーション。

排他ゲートウェイ

ワークフローで下されたディシジョンを表すゲートウェイ。排他ゲートウェイでワークフローが分割される場合、データ統合サービスの決定に基づいて出力ブランチが選択されます。排他ゲートウェイでワークフローがマージされる場合、いずれかの入力ブランチが完了してから出力ブランチがトリガされます。

推測されるキー

Analyst ツールまたは Developer tool が列データを基に候補キーとして推測する 1 つのカラムまたは一連のカラム。

操作マッピング

Web サービスクライアントに対して Web サービス操作を実行するマッピング。操作マッピングには、入力トランスフォーメーション、出力トランスフォーメーション、および複数のフォールトトランスフォーメーションを含めることができます。

条件付きシーケンスフロー

true または false に評価される式を含むシーケンスフロー。式が true と評価された場合、ワークフローの次のオブジェクトが実行されます。式が false と評価された場合は、ワークフローの次のオブジェクトは実行されません。

検出検索

Analyst ツールの検索タイプで、検索クエリに対する直接一致および検索クエリに他のオブジェクトとのリレーションを基にアセットを特定します。

検証環境

マッピングまたはプロファイルを検証するように設定した環境。マッピングまたはプロファイルを検証するのは、ランタイム環境でそれらを実行できるかどうかを確認するためです。検証環境は、Hive、ネイティブ、またはその両方として使用できます。

機能依存性

決定側カラムが依存カラムを機能的に決定する、特定テーブルにおける一連のカラム間の関係。

機能依存性検出

データソース内のカラム間の機能依存関係を検出するプロセス。

決定側カラム

機能依存性において、依存カラムの値を決定する一連のカラム。決定側にカラムが存在しない場合、依存側は一定です。

準結合最適化

ソースから抽出される行の数を減らす最適化方式。準結合最適化では、データ統合サービスがマッピングでの結合操作を変更します。データ統合サービスは、結合条件で、より大きい入力グループにより小さい入力グループと一致しない行がある場合、準結合最適化方式をジョイナトランスフォーメーションに適用します。データ統合サービスはより小さいグループから行を読み取り、より大きいグループで一致する行を見つけ、それから結合操作を実行します。

物理データオブジェクト

読み取り、検索、またはリソースへの書き込みに使用するデータの物理的な表現。

生成されたポート

単一のカラムを表す動的ポート内のポート。Developer tool が 1 つ以上の入力ルールに基づいてポートを生成します。

異常値

異常値とは、プロファイル結果の特定のカラムで、期待される値の範囲に収まらないパターン、値、頻度のことです。

直接一致

グローバル検索の場合、直接一致は検索クエリ全体に一致するアセットです。検出検索の場合、直接一致は、検索クエリにアセットの一部またはすべてのメタデータのある一致を意味します。

結合プロファイル

1 つのデータソース内の 1 つ以上のカラムのセットと、同一または異なるデータソース内の類似したカラムのセットの間の重複度を特定するプロファイルタイプ。

結果セットキャッシュ処理

各 SQL データサービスクエリや Web サービス要求の結果を含むキャッシュ。結果セットキャッシュでは、ユーザが同じクエリを実行したときに、データ統合サービスがキャッシュ済みの結果を返します。結果セットキャッシュは、同じクエリの実行時間を減らします。

記述されているキー

ソースデータベース内の宣言されたプライマリキーです。

設計時アプリケーション

Developer tool で編集するアプリケーション。このアプリケーションには、アプリケーションオブジェクトの設計時インスタンスが含まれます。

論理 Data Transformation マネージャ (LDTM)

ジョブを最適化してコンパイルし、実行 Data Transformation マネージャ (DTM) に送信する、データ統合サービスのサービスコンポーネント。

論理データオブジェクト

組織内の論理エンティティを表すオブジェクト。論理データオブジェクトには属性とキーがあり、属性間のリレーションを表します。

論理データオブジェクトマッピング

論理データオブジェクトを 1 つ以上の物理データオブジェクトにリンクするマッピング。論理データオブジェクトマッピングには、トランスフォーメーションロジックを含めることができます。

論理データオブジェクトモデル

組織内のデータとデータ間のリレーションを表すデータモデル。論理データオブジェクトが含まれ、オブジェクト間のリレーションが定義されます。

論理データオブジェクト書き込みマッピング

論理データオブジェクトを入力として使用し、ターゲットにデータを書き込むマッピング。これには入力として 1 つまたは複数の論理データオブジェクトが含まれ、ターゲットとして物理データオブジェクトが含まれます。

論理データオブジェクト読み取りマッピング

論理データオブジェクト経由でデータを表示するマッピング。これにはソースとして 1 つまたは複数の物理データオブジェクトが含まれ、マッピング出力として論理データオブジェクトが含まれます。

述部式

マッピング内のデータをフィルタする式。述部式は True または False を返します。

述部最適化

マッピングの述部式を簡素化または再書き込みする最適化方式。述部最適化では、データ統合サービスがマッピングのパフォーマンス向上のために述部式をできる限り早期に適用しようとします。

間接一致

検出検索の結果での一致項目のうち、検索クエリの一部または全部に直接一致するアセットにリンクされているもの。

非ネイティブ環境

データ統合サービスがランタイム処理をプッシュできる、Hadoop や Databricks などの Informatica ドメイン外部の分散クラスター。データ統合サービスが非ネイティブ環境に処理をプッシュしない場合、Informatica ドメインのネイティブ環境内でジョブを処理します。